

憲法講演会

「初心にかえる —— 憲法を風化させないために」



プロフィール

講師：飯室勝彦さん
中京大学教授

政権交代はしたけれども、自衛隊は依然としてソマリア沖で作戦行動をしています。それはちっとも報道されません。もはや既成事実として当たり前になっているかのようです。

これまで日米安保(軍事)同盟のもとで犠牲を強いられてきた沖縄の人々の普天間基地撤去の願いを、「腹案がある」とおちょくり、「抑止力」論を持ち出し踏みにじろうとしているのが鳩山政権です。

それだけではなく、自民党政権のもとで強行可決された、でたらめな憲法改正手続き法(国民投票法)をそのまま施行させようとしています。

このように権力者によって進められる「壊憲」の危機は、知らず知らずのうちに私たちが「ここまでならいいか」と許してきた結果でもあるのではないでしょうか。

この現状と、これをどのように越えていったらいいのかを、飯室さんに大いに語っていただきたい。

日 時 6月20日(日) 13:30~16:00 (開場13:10)
場 所 名古屋YWCA 4階(403会議室)

地下鉄「栄」駅5番出口 錦通りを東へ徒歩3分

参加費 500円(学生無料)

共 催 力 第9条の会なごや／愛大九条の会
協 力 名古屋YWCA

連絡先

第9条の会なごや 名古屋市守山区弁天が丘701 大森台2-105(川合方)
T&F 052-798-2789 携帯 090-9171-6038(加藤)

愛大九条の会 jimukyoku@aidai9jo.sakura.ne.jp

飯室勝彦（いいむろ・かつひこ）
『東京中日スポーツ』でプロ野球担当として記者活動を始める。その後『東京新聞』
『中日新聞』の社会部、特別報道部などで、司法、人権、報道問題を中心にジャーナリス
ト活動を続け、1992年より論説委員。2003年4月から現職。
著書は『戦後政治裁判史録』（共著・第一法規出版）『青年はなぜ逮捕されたか』
（三一書房）『報道の中の名譽・プライバシー』『客観報道の裏側』（現代書館）『メディ
アと権力について語ろう』（リヨン社）『新版報道される側の人権』（共著・明石書店）
『報道の自由が危ない——衰退するジャーナリズム』『敗れる前に目覚めよ！ 平和憲法が
危ない』（花伝社）など。